

県外派遣報告書

審判員名	小原 宏太	所属	U18東部
大会名	令和元年度 関東高等学校男子バスケットボール大会		
期間	令和元年 6月1日～6月2日		
会場	富士北麓公園体育館 鐘山スポーツセンター総合体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
5月31日 金	審判会議、レクチャー	県立河口湖高等学校	
6月1日 土	1. 2回戦	鐘山スポーツセンター総合体育館	
6月2日 日	準決勝、決勝	富士北麓公園体育館	
会議 講義 内容			
<p>●渡邊関東ブロック長より・・・地元山梨への還元をしましょう。そして今年度からはインテグリーティーへの判定が必要になってくる。触れ合いのファールと同じように、振る舞いに対しても同じように判定すること。リスペクトフォーザゲームを選手・ベンチ・審判が協力し合い良いゲームを作っていけるように。またコーチとのコミュニケーションのあり方についてお話しいただいた。</p> <p>●眞榮喜氏(指名)より・・・メカ等の基礎基本の徹底、信じることの大切さをお話しいただいた。そしてゲームにアジャストすることが何よりも大切であること。理由・根拠を明確にすることが必須とのアドバイスを頂いた。</p> <p>●梶氏(指名)より・・・新ルールの変更点について確認をおこなった。スローイン・24秒・TF・バックボードにあてることはドリブルではなくなった等のことを映像を用いて確認を行った。</p> <p>●東條氏(指名)より・・・ガイドラインの確認をおこなった。イリーガルorマージナルorノーファールかを常に検証すること。スクリーンプレイに関してOKなものNGのものを映像を用いて確認をおこなった。</p> <p>プロテクトシューターに関すること。UFIについてクライテリアの確認・情報共有をおこなった。</p>			
実技			
担当試合	期 日	6月1日 土	男子 1回戦
	対戦カード	県立市川 VS 立花学園	主審 副審
	相手審判	CC 山崎敬次郎氏 U1 穂川苑子氏	
ミーティング内容		主任 松本祐大 氏	
<p>ダブルオーバータイムになる纏れるゲームではあったが、大きな問題もなく終わることができていた。</p> <p>ローテーションのタイミングをよりプレーにアジャストしていく必要がある。そうすることでよりよい判定につながっていく。リバウンド争いやドライブに対してもう少し笛を入れていく必要があった。</p> <p>個人的には白黒つけるのが早すぎて、決めつけで吹いてしまっているところがあった。ファールをコールするにしてもどちらのシリンダー内で起きている接触なのかをより見極めていく必要があるとのこと指摘を頂いた。</p>			
全体の感想			
<p>自分の力は出し切ったものの足りないことの多さを実感した大会となりました。レイトコールが認められている中でより長くプレーを見てからの判定でも遅くはないということ。また、その余裕があるからこそマージナルを取り上げなくて済むことにつながってくることを再度学ぶことができました。そして何よりも日本・関東を代表する審判員を間近で見ることができ多くのことを学ぶことができました。細かなところへの気配りや新ルールの実践等、大変参考になりました。</p> <p>この度、山梨県バスケットボール協会及び山梨県高体連男子バスケットボール専門部の皆様には細部にわたるまで御配慮頂き大変お世話になりました。また、今大会へ派遣して下さった埼玉県協会、日頃活動を共にしている県内審判員の皆様へ、この場をお借りして御礼申し上げます。今回の経験を少しでも地元へ還元し、切磋琢磨し、精進して参りますので、今後も御指導の程、宜しくお願い致します。</p>			